

ノー・ヘイトスピーチ運動って何？

欧州評議会(CE)を中心に、ヨーロッパで2013年に始まったキャンペーンです。インターネット上に氾濫するヘイトスピーチは、時には深刻な結果を招いています。キャンペーンは欧州の若者を対象に人権と民主主義について学び、ヘイトスピーチに「ノー」と言えるようになることをめざしています。



ヘイトスピーチは日本にもあるの？

あります。 特に在日コリアンのコミュニティに向けて「ゴキブリ、うじ虫！」
「朝鮮半島に帰れ！」など、敵意と偏見をあおる言葉が路上やネット上で流されています。
さらには「良い韓国人も悪い韓国人もどちらも殺せ！」など、
暴力を呼びかけるような言葉も垂れ流されています。
その他、部落、アイヌ民族、沖縄の人びと、移住者、LGBTi、、、、など、
歴史的・社会的に差別や偏見の対象にされてきたコミュニティの人びとが標的にされています。

ヘイトスピーチはなぜいけないの？

人を深く傷つけます。 ネット上には、その利便さと匿名性などを利用して、マイノリティの集団に対するヘイトスピーチがあふれています。その中には、実際に路上で行われた差別的な演説や集会の動画も多数含まれています。ヘイトスピーチは標的にされた集団およびそれに属する個人を威嚇します。彼らの尊厳を傷つけ、疎外感を与えます。その一方で、対象集団ではないマジョリティは「一部の人がやっていること。言っても無駄」として、無関心を装うようになります。そうしたスピーチが野放しにされれば、社会は荒みます。同じ社会のなかにながら、見えない分断を作りかねません。



私に何ができるの？

NO HATEのメッセージを今すぐ。 ヘイトスピーチを許さない社会を作ることが望まれます。そのためにはみんなが努力しなくてはなりません。まずはヘイトスピーチに対して敏感になり、あなたなりにNO！の態度を示すことが大切です。その一つとして、私たちと一緒にNO HATE のメッセージを世界に向けて送りませんか！！

NO HATE MOVEMENT について詳しく知りたい方は：<http://www.nohatespeechmovement.org/>

作成：反差別国際運動(IMADR)